

令和3年度 経営発達支援事業 評価シート

評価基準

A: 目標を達成することができた(100%以上) B: 目標を概ね達成することができた(80~99%)  
 C: 目標を半分程度しか達成することができなかった(30~79%) D: 目標をほとんど達成することができなかった(30%未満) E: 未実施

I 経営発達支援事業の内容

事業 【「経営発達支援計画」掲載ページ】	項目		令和3年度		実績	評価
			目標	実績		
1. 地域の経済動向調査に関すること【P7】	①中小企業景気動向調査	回	4	4	岩手県商工会連合会より提供される「中小企業景況調査報告書」にて県内の景況を把握。事業計画策定支援時に活用した。	A
	②住田町景気動向調査(20社)	回	2	17	15社への四半期毎の景況調査、4社への毎月の新型コロナ影響調査、町と共同で実施した新型コロナの影響調査による有効なデータを事業計画策定時に活用した。	A
	③岩手経済研究による情報収集	回	12	12	職員間で刊行物を回覧し、事業計画策定時に有効なデータ等を調査・分析を行った。	A
	④ホームページによる情報発信	回	2	4	岩手県商工会連合会より提供される「中小企業景況調査報告書」をホームページへ掲載した。	A
2. 経営状況の分析に関すること【P8】	①巡回訪問件数 (支援対象掘り起しのための巡回数)	件	40	42	巡回訪問により現状や課題等を確認し、活用できそうな支援施策等の情報を提供。事業計画策定支援企業の掘り起こしにもつなげた。	A
	②商工会報による掘り起し (商工会報の発行数)	回	3	10	商工会報発行時に、事業計画策定の有効性を伝える為、小規模事業者持続化補助金等の各種支援施策も併せて周知。会報は5/24、12/10に発行、各種支援施策の周知を8回行い、事業計画策定の支援企業を掘り起こした。	A
	③経営分析件数	社	6	17	巡回訪問時に収集した情報をもとに、支援企業の経営分析(定量分析・定性分析)を行い、事業計画策定支援に活用した。	A
3. 事業計画策定支援に関すること【P9】	①事業計画策定件数	件	6	17	経営分析を踏まえ、持続的発展を図った事業計画を策定。活用できそうな各種支援施策等も提案し、小規模事業者持続化補助金等の採択にもつなげた。	A
	②事業計画策定セミナー開催回数	回	1	2	1/20に講師を招聘し、事業計画策定個別相談会を開催。3社が参加し、事業計画策定の手法やポイント等についての理解を深め、今後の事業展開の精度を高めることができた。	A
	③創業・事業承継支援件数	件	2	12	町内での創業者2名について、創業支援を行った。また、10社に対し、事業承継計画の策定支援を行った。	A
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【P10】	①計画実施のためのフォローアップ件数 (対象事業所数×4回)	回	40	73	11社に対し、計73回巡回訪問等によりフォローアップ。進捗確認や支援施策等の情報提供、専門家派遣等を行った。	A
5. 需要動向調査に関すること【P10~12】	①消費者ヒアリング調査	回	1	0	新型コロナウイルス感染予防対策の為、実施を見送った。	-
		社	3	0		-
	②首都圏における需要動向調査 (消費者ニーズ調査)	回	1	1	ECサイト『JAタウン』等を活用し、関東圏と仙台圏を対象に11月に新聞広告で周知。また、サイトのQRコードを掲載したリーフレットも作成し、購入者からの商品に対するアンケート調査を実施した。調査結果をフィードバックし、商品開発や販路開拓、事業計画策定時に活用。	A
		社	3	11		A
	③首都圏における需要動向調査 (トレンド調査)	回	1	1	12/7に岩手県産(株)のバイヤーを招聘し、参加事業者に対して首都圏等のトレンドやコロナ禍におけるEC市場の動向について説明。また、各事業者毎への製品に対するアドバイスもいただいた。商品の改善点等の明確化やECサイトの活用ポイントを学び、販路開拓の実現性を高める機会となった。	A
		社	3	3		A
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【P12~13】	①商談会・物産展支援者数	社	5	4	12/2の岩手県アドバイザー派遣等による個別商談、12/7の岩手県産(株)による「訪問型個別商談会」において計4者が参加。円滑な商談となるよう事業の運営や、バイヤーからのアドバイス等を踏まえた個別支援により成果の向上を図った。なお、2/8の「いわて食の商談会 in 仙台」はコロナ感染拡大の影響により、出展を予定していた2者が見送りとなった。	B
	②ニッポンセレクト.com出展支援者数	社	3	11	ECサイト『ニッポンセレクト.com』を運営する全国商工会連合会では、今年度より新規募集を行わないこととなったが、町とJAおおふなどとの連携により、ECサイト『JAタウン』等を活用。コロナ禍以降、需要が高まっている新たな販売ツールの導入支援を行った。	A
	③SHIFT利用事業所総数	社	36	16	情報発信ツール「グーペ」の利用促進を個社支援時にやっているが、目標数値には至っていない。	C
	④フェイスブック活用講習会開催回数	社	0	-	今年度の実施計画なし。	-
	⑤フェイスブック利用事業所数	社	30	22	個別相談時にフェイスブックを含めたSNSの活用を推奨しているが、目標数値には至っていない。	C

II 地域経済の活性化に資する取組み

事業 【「経営発達支援計画」掲載ページ】	項目		令和3年度		実績	評価
			目標	実績		
1. 地域経済活性化イベント事業【P13】	町内各種イベント	-	-	-	新型コロナウイルス感染症拡大により、町内イベントが中止となったが、6/6に種山開き、7/31にコロナ終息祈願花火の打ち上げを行った。また、世田米商店会による1/3の抽選会実施、イベント運営の協力により、地域の活性化に寄与した。	-
2. 町内各組織の連携強化と中心商店街の活性化【P13~14】	①特産品開発支援	社	3	4	地場産品を活用した新たな商品に対し、専門家や岩手県産(株)との連携により商品力向上支援を行った。	A
	②地元木材を活用した商品開発支援	社	3	1	1事業者に対し、新商品開発、販路開拓等の支援を行った。	D
	③森林林業日本一を目指す町PR支援	回	2	0	実績までには至っていないが、前段となる②の支援を行った。	D

III 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業 【「経営発達支援計画」掲載ページ】	項目		令和3年度		実績	評価
			目標	実績		
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること【P14~15】	①経営改善貸付連絡協議会参加	回	2	2	6/23に一関市でマル経協議会、10/28にはオンライン勉強会へ参加し、得られた情報については、小規模事業者の個別指導の際に活用している。	A
	②保証協会主催の懇談会	回	1	0	新型コロナウイルス感染予防対策の為、開催が見送られた。	-
	③住田町地域経済活性化推進協議会	回	1	0	実施には至っていない。	E
	④行政との情報交換	回	1	2	5/18に担当課職員、10/15に町長、副町長、担当課職員による情報交換を行い、町内企業の情報共有、町の支援施策等についての詳細を確認し、個社支援時に活用。	A
2. 経営指導員等の資質向上等に関すること【P15~16】	①岩手県商工会連合会の研修	回	16	27	職員向けの各種研修会への参加等により、景況の把握や支援ノウハウの取得等、資質向上を図った。	A
	②全国商工会連合会の研修	回	1	2		A
	③中小企業基盤整備機構の研修	回	1	0	中小企業大学校(仙台校)の研修参加を計画していたが、新型コロナウイルス感染予防対策の為、見送った。	-
	④商工会内研修	回	12	12	毎朝職員間でミーティングを行い、当日の業務内容や情報共有により、会員支援に役立てた。	A
3. 事業評価及び見直しをするための仕組みに関すること【P16】	①企画委員会の設置による事業の評価・検証	-	-	-	10/29に企画委員会を立ち上げ、3/23に今年度事業の評価・検証を行った。	-